

初年度納付金(予定)

入学金※ 175,000円 授業料 520,000円 施設設備費 300,000円 合計 995,000円

※他大学を卒業した場合の入学金

奨学金

- 日本学生支援機構(JASSO)奨学金(貸与) — 第一種奨学金(無利子)
第二種奨学金(有利子)

条件適格者を日本学生支援機構に推薦し、同機構が奨学生を決定します。制度については、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。



修了後の主な進路

01

病院の看護部長、師長、部署リーダー

02

訪問看護ステーション等の管理者

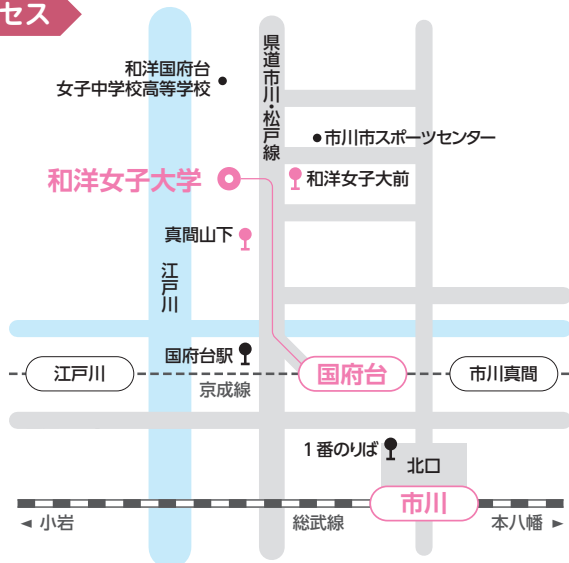
03

健康政策、保健行政などに携わる公務員
における中堅管理職やコーディネーター

04

大学等での教育研究者

アクセス



キャンパス所在地

〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1

交通アクセス

■JR市川駅

下車→バス8分
バス:市川駅(北口1番京成バス)→松戸営業所行(真間山下 下車)

■京成線国府台(和洋女子大学前)駅

下車→徒歩9分

■JR松戸駅

下車→バス20分
バス:松戸駅(西口1番京成バス)→市川駅行(和洋女子大前 下車)

■北総線矢切駅

下車→バス7分
バス:矢切駅(京成バス)→市川駅行(和洋女子大前 下車)

問合せ先

和洋女子大学 看護学研究科設置準備事務室(月~金:10時~16時)

〒272-8533 千葉県市川市国府台2-3-1
TEL: 047-371-1176 E-mail: kaisetsu@wayo.ac.jp



和洋女子大学大学院 看護学研究科 (男女共修)

看護学専攻(修士課程/修業年限:2年) 入学定員6名

Graduate School of Nursing Division of Nursing Studies

2024年(令和6年)4月開設



和洋女子大学大学院

和洋女子大学大学院 看護学研究科 (男女共修)

看護学専攻 (修士課程 / 修業年限：2年) 入学定員6名

地域・医療・福祉に貢献できる看護職の育成とキャリアアップ

和洋女子大学大学院では、臨床現場だけでなく、地域住民と密接に関わり高度な看護を提供し、現代社会の看護ニーズに応え、医療の現場の諸課題に柔軟に対応できる知識とコミュニケーション能力に加え、実践現場での調整能力とリーダーシップを備えた看護専門職者、看護管理者、看護研究者および看護教育者を養成するために、看護学研究科看護学専攻 (修士課程) を2024年(令和6年)4月1日に開設します。



さとみ館(大学院講義予定施設)

修了時に得られる受験資格

資格名 認定看護管理者(公益社団法人日本看護協会認定)

受験資格について 認定審査を受験する者は、以下の条件をすべて満たしていなければならない。

- 1 看護師免許を有する
- 2 看護師として5年以上の実践経験(うち通算3年以上看護師長相当以上の看護管理の経験があること)
- 3 看護管理に関連する学問領域の修士以上の学位を取得している
⇒「看護管理」に関連する単位を取得し、修士論文に「看護管理」についての内容が論述されていること
※詳細は、日本看護協会のホームページでご確認ください。



養成する人材像

看護実践の具体的諸課題に焦点をあて、その問題解決能力の育成をし、実践の場において、次の能力を有する人材を養成します。

01
看護職の高度かつ幅広い専門性を備え、自らが関わる組織あるいはコミュニティを統括することができる人材

02
時代のニーズに応えるため広い視野を磨き、乳幼児期、妊娠・出生から老年期までのライフコースに寄り添ってセルフマネジメントの支援ができる人材

03
地域包括ケアシステムおよび産業看護・公衆衛生において、心身両面からの健康維持と向上を支援し、専門職間連携に関する視点を看護学に応用した研究課題に取り組める人材

04
看護領域でリーダーとして活躍するため、自身の心身の健康を自己管理できる人材

05
臨床において、組織の将来を見据え創造的に提言できる高いマネジメント能力および倫理的実践能力を有する人材

学問領域

大学院での研究を進めるにあたって、基盤となる「共通科目」を学修したうえで、専攻する専門領域を学修します。カリキュラムでは、「基盤看護学領域」と「広域看護学領域」の2つの領域に分けられ、領域ごとに特論(講義)から演習、特別研究と体系的な学びを展開します。30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格することで、修士(看護学)の学位が授与されます。

和洋女子大学大学院看護学研究科看護学専攻では、以下の5つの能力が身につきます。

01

看護実践上の課題を見出し、研究を計画・実施し、課題解決のための方法を探求する能力

02

専攻する分野の看護における課題を、知識と経験から得た根拠に基づき、分析し解決する能力

03

高い倫理観をもち、複雑な倫理的課題に対応できる能力

04

ケアの対象者および多職種の持つ多様な価値観や背景を理解し、連携・協働を推進する能力

05

看護の質の改善に向けて取り組み、看護学および地域社会の保健・医療・福祉の発展に寄与できる能力

看護学研究科

共通科目

- 研究方法I・II
- 看護教育特論
- 看護倫理学特論
- チーム医療特論
- 公衆衛生学特論
- 地域包括ケア特論
- 疫学保健統計学特論
- 臨床心理学特論
- 社会福祉学特論
- 臨床栄養学特論

基盤看護学領域

- 看護管理
- 小児看護学
- 成人看護学
- 老年看護学

広域看護学領域

- 健康医療政策学
- ウィメンズヘルス看護学
- 精神看護学
- 産業看護学
- 地域看護学

特別研究

修士論文

予定する支援制度

- 平日夜間・土曜日開講
- 長期履修制度*

*長期履修制度とは職業を有している等の事情により、最長4年間で計画的に教育課程を履修し、修了する制度

メッセージ

変わる社会に柔軟に応える看護職の育成をめざして

和洋女子大学 学長 岸田 宏司

和洋女子大学は1897年(明治30年)に創設され、4学部(人文学部・国際学部・家政学部・看護学部)、2研究科(人文科学研究科・総合生活研究科)を有する女子総合大学です。2018年(平成30年)に開設した看護学部は看護大学院看護学研究科の設置を予定して設計されていました。日進月歩で高度化する医療や医療機関の連携体制の構築に対応できる専門性の高い看護師の養成が、社会で求められていたからです。本研究科は社会のニーズに応える研究力を備え、自ら考え、判断できる看護職の育成をめざしています。



看護の質の向上と自身の看護職としてのキャリアアップをめざして

看護学研究科長就任予定 中澤 明美

和洋女子大学は、保健・医療・福祉への生活支援ネットワークの要となる質の高い看護職人材の育成をめざし、2024年(令和6年)4月に大学院看護学研究科修士課程を開講いたします。本研究科は、臨床現場のみならず地域社会を取り巻きさまざまな保健・医療・福祉に対する課題に、看護専門職として主体的に取り組める課題解決力、総合的な調整能力とリーダーシップ、コミュニケーション力を備えた看護実践者、看護管理者、看護研究者、看護教育者の人材を育成することを目的としています。よりよい看護実践を通して、看護の質の向上と看護職としての自身のキャリアアップをめざす皆様の入学を心からお待ちしています。

